

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	堀川産業株式会社 新社屋建設計画	階数	地上8F
建設地	埼玉県草加市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,180 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2024年10月3日
敷地面積	1,087 m ²	作成者	栗原寿樹矢
建築面積	560 m ²	確認日	2024年10月25日
延床面積	4,420 m ²	確認者	栗原寿樹矢



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	高い外皮性能を確保し、省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた	その他 特になし
Q1 室内環境	使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、かつ敷地や建物の内に喫煙ブースを設けておらず、室内空気環境へ配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	熱負荷抑制に努めている	LR3 敷地外環境 光害対策に十分に配慮した計画
	Q2 サービス性能 給水管等に長寿命の部材を使用している	
	LR2 資源・マテリアル 建物の節水性に配慮している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 堀川産業株式会社 新社屋建設計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.3
1 音環境				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		遮音性能:T-2以上		5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.39	-	-	
2 外皮性能				3.0	0.24	-	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用				4.1	0.36	-	-	
1 昼光率		2.5% ≤ [昼光率]		5.0	0.55	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.45	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.28	-	-	
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3.3 照度				3.0	0.14	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.23	-	-	
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		建物のほぼ全面にF☆☆☆☆採用		4.0	1.00	-	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.35	-	-	
2 自然換気性能				3.0	0.31	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.35	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		敷地や建物の内に喫煙ブースを設けておらず建物全体を禁煙としている。		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0
1 機能性				2.9	0.40	-	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	0.31	-	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.31	-	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている		4.0	0.39	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				3.0	0.35	-	-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.31	-	-	
3 内装計画				1.0	0.35	-	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30					3.1
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30					
1 階高のゆとり			3.0	0.60					
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40					
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30					
3.3 設備の更新性			3.4	0.40					
1 空調配管の更新性			3.0	0.20					
2 給排水管の更新性			3.0	0.20					
3 電気配線の更新性		ケーブルラックを利用して、構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕が出来る	5.0	0.10					
4 通信配線の更新性		ケーブルラックを利用して、仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕が出来る	5.0	0.10					
5 設備機器の更新性			3.0	0.20					
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20					
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30					2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30					2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40					3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30					2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50					
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50					
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-					3.9
LR1 エネルギー			-	0.40					4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m]= 0.69	5.0	0.20					5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10					3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.39	5.0	0.50					5.0
4 効率的運用			3.0	0.20					3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00					
4.1 モニタリング			3.0	0.50					
4.2 運用管理体制			3.0	0.50					
集合住宅の評価			-	-					
4.1 モニタリング			-	-					
4.2 運用管理体制			-	-					
LR2 資源・マテリアル			-	0.30					3.4
1 水資源保護			3.4	0.20					3.4
1.1 節水		節水コマなどに加えて、省水型機器などを用いている	4.0	0.40					
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60					
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70					
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30					
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60					3.4
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11					
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22					
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22					
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュアラン	3.0	0.22					
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-					
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能であるLGS工法と再利用できるユニット部材であるOAフロアを採用している	5.0	0.22					
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20					3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30					
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70					
1 消火剤			-	-					
2 発泡剤(断熱材等)		発泡剤(フロン類)を用いていない断熱材を採用している	5.0	0.50					
3 冷媒			3.0	0.50					
LR3 敷地外環境			-	0.30					3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=55%	4.8	0.33					4.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33					3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25					
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50					
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25					
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25					
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25					
3 交通負荷抑制			3.0	0.25					
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25					
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33					3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40					
1 騒音			3.0	1.00					
2 振動			-	-					
3 悪臭			-	-					
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40					
1 風害の抑制			3.0	0.70					
2 砂塵の抑制			-	-					
3 日照障害の抑制			3.0	0.30					
3.3 光害の抑制			3.7	0.20					
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策チェックリストの一部を満たし、広告部照明は設置されていない	4.0	0.70					
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30					

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	堀川産業株式会社 新社屋建設	BEE	1.8	BEEランク	★★★★
------	----------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.8	+	2.6	=	7.4 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.8
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出率=55%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 特になし			

:入力欄